

JAM E.Nさん

2024平和行動in広島に参加する機会をいただき、心から感謝いたします。

平和記念公園には15年ぶりに訪れましたが、その時に感じたことを忘れていたように思います。当日は36℃を超え「暑い!」と思っていましたが、原爆が投下されたとき地表面は3000℃ほどだったことを知り、どう表現したらいいのかわからないほどの恐怖を覚えたことなどです。私の祖父母も戦争を経験していますが、最期まで語ることはなかったので、自分の目と肌で感じたこの感情を忘れてはいけないと思いました。

また説明をされていた連合広島の方々や高校生平和大使の言葉の節々にあの惨劇を忘れずに伝えていかなければならないという意思を強く感じ、自分の意識との差を感じました。当時のことを実体験として知る人の高齢化が進むのは避けて通れない道ですが、だからこそ今やるべきことがあるはずです。

「安らかに眠って下さい 過ちは繰り返しませぬから」

この言葉を忘れずに、訪れたからこそ感じたことを周りの人に伝えていくことが、少しでも世界の恒久平和の実現の一助になることを信じて実行しようと思います。

JAM K.Nさん

8/5～8/6にかけて行われた平和行動in広島に初めて参加させていただきました。

広島平和記念公園での連合ピースウォークでは公園内に建造されたモニュメント前で連合広島の方による由来や歴史の説明を聞くことができ戦争の悲惨さを改めて知ることができました。

また平和ヒロシマ集会では被爆体験者の方から話を聞くことができいつもの感情を維持するのは困難なくらい悲惨で残酷な話でした。原爆ドーム前では追悼の意も込めて献花させていただきました。6日の平和式典では黙とうさせていただきましたが79年前に私もここにいたら。と思うと残酷な思いしかありませんでした。

悲劇を身をもって体験された方々の高齢化が進み継ぐ“思い”が薄れてきている中、我々含め世界の恒久平和の実現に向けて日々微力ながら努力し続けていくことが残された者の役目と感じました。改めて平和について考える大変貴重な機会だったと思います。

JP労組 Mさん

79年前の8月6日に広島市は原爆の投下により壊滅的な被害を受けました。原爆は、一瞬で数十万人の命を奪うとともに放射線によって多くの人々や環境に深刻な影響を及ぼしました。この戦争の悲惨さを象徴しているものが原爆ドーム等をはじめとする戦争遺産であり、これらの遺産は、過去の惨劇と平和の大切さを次世代に伝える重要な役割を果たしています。

今回、平和行動での、戦争遺産の見学や講和を通じて、改めて歴史を学ぶことができ、平和の重要性を再確認することができました。

平和を実現するためには核兵器の廃絶が重要課題の一つです。核兵器の廃絶は、単に兵器を取り除くだけでなく、国際的な信頼と協力を築く必要もあります。平和を維持していくためにも、全ての国が協力し、信頼関係を築くことが不可欠です。

そのためには、私たち一人ひとりが平和の重要性を認識し、唯一の被爆国である日本が先頭に立て平和を訴えていかなければいけないと強く感じました。

JP労組 Tさん

『2024平和行動 in 広島』へ参加して、戦争の恐ろしさ、原爆の脅威やそれらに対する平和行動について学びました。

平和記念公園にて行われたピース・ウォークでは公園内にある各モニュメントを回り、それぞれの由来などを聞きました。特に有名なものの一つである原爆ドームについて、その名前が誰かがそう呼ぼうと宣言したものではなく、市民のあいだで自然に言い出されたものであることを今回初めて認識しました。他にも多くの慰霊塔や慰霊碑があり、驚きとともに自分が知っていたことが極僅かではないことを痛感しました。

平和集会では国際労働組合総連合をはじめ、様々な方から原爆の恐ろしさや平和への様々な活動についての話を伺いました。その中でも特に印象に残っているのは高校生平和大使の活動でした。学生である彼女たちは海外へ赴き、核兵器の廃絶と平和を訴えており、若い世代が、戦争を経験した世代から平和への想いを受け継いでいるのが感じられました。その熱量に触れることで平和について考えることができ、学びの機会にもなるとても良い経験になりました。